

令和5年度の補正予算などを 審議しました

令和5年第4回定例会では、令和5年度補正予算や札幌市営住宅条例の一部を改正する条例案などの議案42件、諮問1件、陳情1件、意見書4件を全会一致または賛成多数で可決しました。

可決した主な議案 ～補正予算案と条例案～

令和5年度の補正予算案

以下の経費など、全会計総額377億5,700万円を増額する補正予算を可決しました。

- 学校など市民生活を支える市有施設の光熱費
- 物価高騰対応臨時給付金
- 札幌生活応援プレミアム商品券事業費
- 職員費、子ども医療助成費追加

札幌市営住宅条例の一部を改正する条例案

市営住宅をより一層公平かつ的確に供給するため、単身で入居できる者の範囲を拡大するとともに、入居者の決定の際に優先的に選考する者に、小学生以下の子どもがいる世帯などを追加するほか、入居手続きで連帯保証人の確保を不要とするものです。

可決した主な意見書（概要）

意見書

意見書とは、市政の発展に必要な事柄の実現を要請するため、市議会の意思を決定し、国会や政府に提出するものです。

ゼロカーボン北海道の実現に向けた 森林・林業・木材産業施策のさらなる充実・強化を求める意見書

国が地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする目標を掲げている中、全国一の森林面積を有する北海道においても、2050年までに道内の温室効果ガスの排出量の実質ゼロを目指すゼロカーボン北海道を表明しています。その実現に向けた森林・林業・木材産業施策のさらなる充実・強化を図ることは、国の目標を達成するためにも重要な意味を持つものであることから、国会および政府に対し、以下の措置を講ずるよう強く要望するものです。

- ①適切な間伐と伐採後の着実な植林の推進に必要な森林整備事業予算や防災・減災対策の推進に必要な治山事業予算を十分に確保すること。
- ②成長が早く形質の優れたクリーンラーチなどの優良種苗の安定供給、ICTなどの活用によるスマート林業の推進、木材生産・流通体制の強化、建築物の木造・木質化や、木質バイオマスエネルギーの利用促進などによる道産木材の需要拡大、森林づくりを担う人材の育成・確保などに必要な支援を充実・強化すること。

その他の議案および議決結果は、6ページに掲載しています。
上記を含む可決した4件の意見書の全文は、市議会ホームページに掲載しています。